

平成28年6月14日

尻別川における大規模氾濫に対する減災対策を地域ぐるみで推進

～「尻別川減災対策委員会」を新たに設置・開催します～

このたび、国、北海道、市町村、関係機関等が連携・協力して、大規模氾濫に対する減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進するため「尻別川減災対策委員会」を設置し、第1回委員会を開催します。

- 昨年9月の関東・東北豪雨では、流下能力を上回る洪水により利根川水系鬼怒川の堤防が決壊し、氾濫流による家屋の倒壊・流出や広範囲かつ長時間の浸水が発生しました。
- これを踏まえ、国土交通省では、社会全体で大規模な氾濫の発生に備える「水防災意識社会再構築ビジョン」に取り組むこととしています。
- 尻別川流域においても大規模な氾濫に備え、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進するために、小樽開発建設部、後志総合振興局、蘭越町、札幌管区気象台等からなる「尻別川減災対策委員会」を新たに設置し、第1回委員会を開催します。

記

- 1 日 時 : 平成28年6月17日(金) 13時15分から(40分程度)
- 2 場 所 : 蘭越町山村開発センター 1階 集会室(磯谷郡蘭越町蘭越町258番地)
- 3 議事(予定) : ・現状の水害リスクや取組状況について
・減災のための目標(案)について
・今後のスケジュールについて
- 4 公 開 等 : 会議は取材可能ですが、カメラ撮影は会議冒頭部分のみとしております。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局

小樽開発建設部 工務課長 西岡 義一 (ダイヤルイン 0134-33-0525)

小樽開発建設部 工務課長補佐 田中 和浩 (ダイヤルイン 0134-23-5195)

小樽開発建設部ホームページアドレス <http://www.ot.hkd.mlit.go.jp/>

尻別川減災対策委員会 設置趣旨

平成27年9月関東・東北豪雨では、流下能力を上回る洪水により利根川水系鬼怒川の堤防が決壊し、氾濫流による家屋の倒壊・流失や広範囲かつ長期間の浸水が発生しました。また、これらに住民の避難の遅れも加わり、近年の水害では例を見ないほどの多数の孤立者が発生する事態となりました。今後、気候変動の影響により、このような施設の能力を上回る洪水の発生頻度が高まることが懸念されています。

こうした背景から、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。

本答申においては、氾濫が発生することを前提として、社会全体で常にこれに備える「水防災意識社会」を再構築する必要があるとされています。また、そのための施策として、関係者が連携して避難に関する計画の作成や水防等の減災に関する様々な課題に対応するための協議会等の仕組みを整備する等、円滑かつ迅速な避難の実現、的確な水防活動の推進等を図るための取組を進めるべきとされています。

このことを踏まえ、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進し、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とし、河川管理者、北海道、蘭越町等からなる「尻別川減災対策委員会」を「尻別川水防連絡協議会」の中に設置するものです。

尻別川減災対策委員会 名簿

小樽開発建設部	部長（委員長）
後志総合振興局	局長
小樽建設管理部	部長
蘭越町	町長
札幌管区气象台	気象防災部長
JR北海道（株）	工務部工事課長
北海道電力（株）	倶知安水力センター所長
倶知安警察署	署長
陸上自衛隊	北部方面対舟艇対戦車隊 隊長